



水とお湯をしっかりと使い分けて、省エネルギー。
それが「エコシングル水栓」です。

● 無意識にお湯を使わせない

従来のシングルレバー混合栓では湯水混合だったレバー中央部を、水の吐水域に設定。無意識にレバーを操作した時に、知らずに給湯機を作動させるというムダを防ぎます。

● 水とお湯の境目がわかる

さらにレバーの水とお湯の境目にクリック感を設け、水とお湯を意識的に使い分けできるようにしました。

● 変わらないまま、グレードアップ

見た目にも使い勝手にも特別な変化はないまま、実はよりすっきりしていて使い易く、たっぷり節湯できる優れたものです。

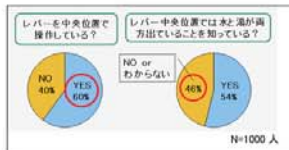
機能性

レバー中央部まで水が出て、どのレバー位置で吐水しても適正な吐水量を保ちます。

数年をかけて改良したセラミックディスクを搭載した「エコシングルバルブ」の誕生で、最も操作し易いレバー中央部で水が出るようになりました。水とお湯の配分を変えながら、どの位置で操作しても快適な流量を保つという難題もクリアしました。

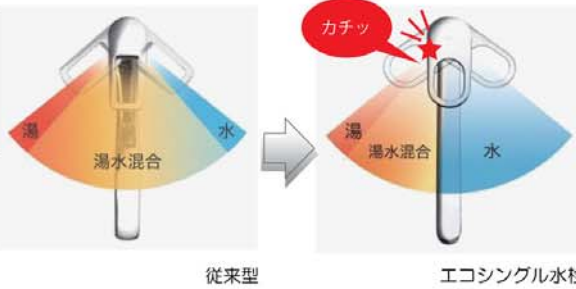
水とお湯の切り替え時に『カチッ』と感じるから、水とお湯をしっかりと使い分け。

クリックユニットの内蔵によって、使用者に水とお湯の切り替えをわかり易く伝えます。このクリック感が意識的な水とお湯の使い分けを促し、節湯、ひいては節ガスを導きます。



元来、多くの使用者が操作しやすいレバー中央部で操作しており、またレバー中央部では水とお湯の両方が出ていることを、46%の人が「知らないわけではない」と回答。

出典：「エコシングルレバー型水栓の水・湯混合方法に関する調査報告書」(2009年3月) 日本建築学会環境学雑誌 第74巻 第617号 351-360 / 鈴木一弘、大塚雅之



社会性・経済性

「節湯」が自然にムリなくできる

今まで水栓におけるエコの概念は、主に量(最適流量が少ない)と、時間(こまめに出し止め)の2つでしたが、エコシングル水栓は無意識な出湯を削減し、また使用者が意識して湯の使用頻度を減らす新たな第3の概念を持ったグリーン商品です。

湯のムダ使いを防ぎ、CO₂も削減。

水とお湯をきちんと使い分けられるので、無意識によるエネルギーのムダ使いを防ぎます(年間約30%の節湯効果)。



4人家族あたり年間使用給湯量(キッチン)

*「エコシングル」の使用の合理性に関する調査(2009年)及び特定建築物の所有者の意識の調査(2009年)による給湯量(湯量、4人家族、洗面槽120cmの洗面所)を想定。キッチン使用頻度、エコシングル水栓による節湯効果(約30%)と(注)日本VOP工業振興会が発表している「節湯」による節湯効果(約17%)の相乗効果により約41%節湯。

作品の概要／環境・設備デザインの解説

今までと通りのたたずまいで、機能向上。今までと変わらないたたずまいと使い勝手のまま、効果的な節湯ができるようこだわりました。外観は余計な要素を加えず、これまでのデザインを突き詰めています。水栓本体や部品を従来品と共通化しているため、各種住宅やパブリック施設のキッチン・洗面所向けにバリエーションを展開。様々なシーンでご利用いただけます。

究極の薄肉化

0.1mmの単位までこだわってそぎ落とすという、徹底的な材料の薄肉化で、ムダのないシンプルな造形美を実現しました。資源消費を抑えることにもつながっています。

快適操作 & シームレス

リングハンドルは、強くも弱くもない力で快適に操作できるバランスを追求しました。さらに角や継目、段差などをなくして、シャープなラインを強調しています。シームレスだから、お掃除も一拭でラクラクです。

縦型にも横型にも対応

エコシングルバルブは従来のバルブユニットと外形寸法を変えないことで、水栓本体や部品の共通化を配慮したプラットフォーム設計となっています。縦型横型のいずれのレバーの水栓もエコシングル化が可能です。

評価表 (自己評価)

評価項目	評価内容	評価結果		評価項目	評価内容	評価結果	
		達成率	評価			達成率	評価
19 耐久性	20 LCC	2.0	03 独創性	11 環境配慮	12 資源消費	0.0	04 象徴性
18 維持管理	01 審美性	0.0	05 完成度	10 環境負荷	09 安全性	0.0	06 機能性
17 エネルギーコスト	02 調和性	0.0	07 効率性	08 利便性	08 利便性	0.0	07 効率性
16 エンベロップメント	03 象徴性	0.0	06 機能性	07 効率性	07 効率性	0.0	06 機能性
15 先進性	04 象徴性	0.0	05 完成度	06 機能性	06 機能性	0.0	05 完成度
14 エコパル性	05 完成度	0.0	04 象徴性	05 完成度	05 完成度	0.0	04 象徴性
13 地域環境性	06 機能性	0.0	03 象徴性	04 象徴性	04 象徴性	0.0	03 象徴性
12 資源消費	07 効率性	0.0	02 調和性	03 象徴性	03 象徴性	0.0	02 調和性
11 環境負荷	08 利便性	0.0	01 審美性	02 調和性	02 調和性	0.0	01 審美性